F SPORT PARTS (TRD)

MS342−76001/2/3
ルーフスポイラー

取付・取扱要領書

この度はF SPORT PARTS（TRD）ルーフスポイラーをお買い上げ頂き誠に有難うございます。
本書は本製品の取付け、取扱いについての要領と注意を記載してあります。
取付け前に必ずお読み頂き、正しい取付け、取扱いを実施してください。
なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

★ 本商品は登録後架装を前提としています。

■ 品番・適合車種

品 番	塗装色	適合車種	型 式	年 式	備 考
MS342-76001-A0	ﾎﾜｲﾄﾉｰｳﾞｧｶﾞﾗｽﾌﾚｰｸ(083)	レクサス UX	MZAA10 MZAH10 MZAH15	’18.11～	
MS342-76001-A1	ｿﾆｯｸｸｫｰﾂ（085）				
MS342-76001-C0	ﾌﾞﾗｯｸ（212）				
MS342-76001-C1	ｸﾞﾗﾌｧｲﾄﾌﾞﾗｯｸｶﾞﾗｽﾌﾚｰｸ（223）				
MS342-76002-NP	未塗装品（プライマー処理品）		KMA10	’21.02～	
MS342-76003	共通品（212）				

・最新の適合情報はTRDカタログサイトをご覧ください。http://www.trdparts.jp

Racing Development TRD

■ 構成部品

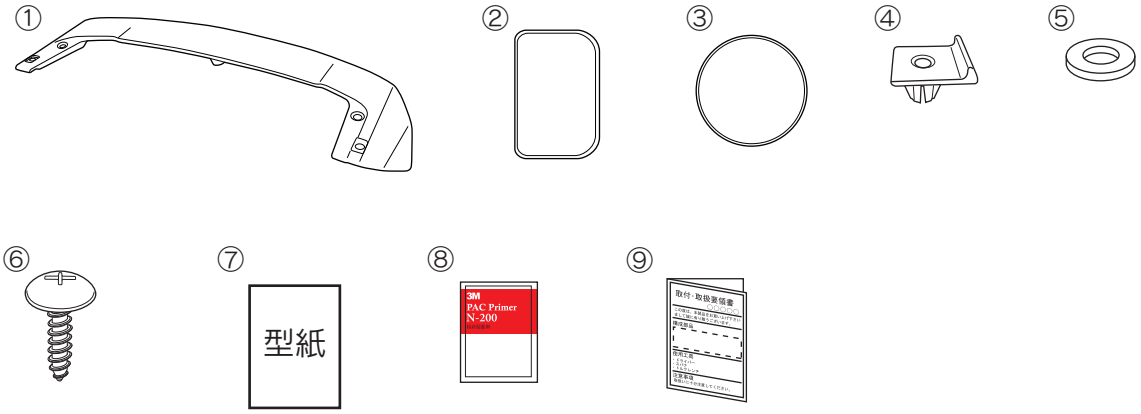
No.	部品名	品番	数量	備考
①	ルーフスポイラー		1	
②	キャップA		2	
③	キャップB		2	
④	グロメット		4	
⑤	ワッシャー		4	
⑥	タッピングスクリュー		4	
⑦	型紙A・B		1	
⑧	PAC プライマー N-200		1	赤袋
⑨	取付・取扱要領書		1	本書

以下、MS342-76002-NP（未塗装品セット）のみに同梱

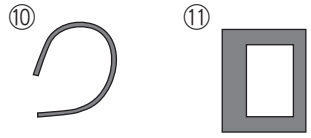
No.	部品名	品番	数量	備考
⑩	クッションテープ		1	
⑪	クッション		4	

※確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

■ 構成部品図



以下、MS342-76002-NP（未塗装品セット）のみに同梱



取付け上のご注意（取付け作業者の方へ）

作業を行なう前に必ずお読みになり、安全で確実な取付け作業を行ってください。

⚠ 警告	この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと生命の危険または、重傷等を負う可能性がある内容について記載しています。
⚠ 注意	注意事項を守らないで、誤った取付け・取扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等の恐れがある事を記載しています。
アドバイス	スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⃠ やってはいけないこと　　❗ 必ず行っていただくこと

⚠警告

⃠ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故を招く恐れがありますので絶対に行わないでください。

❗ 本商品の取付け・交換は、該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。

❗ 取付け作業は規定トルクに従って、確実に締付けてください。締め付けが足らないと脱落などにより重大な事故や故障を招く恐れがあります。

⚠注意

❗ 本商品を取付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合がないことを確認してください。取付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。

❗ 本商品の取付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取扱いを行ない、同時に取付け部位を保護材にて養生した上で作業を行ってください。取付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

脱脂作業について　（別紙の脱脂作業要領も参考にしてください。）

❗ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、ホワイトガソリン、イソプロピルアルコール（IPA）または、「㈱タクティー取扱いのシリコンオフ」を使用して確実な脱脂を行なってください。指定以外のシリコンオフは使用しないでください。

❗ 脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

❗ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。

❗ 両面テープは一度貼付けてから剥がしますと、接着力は低下しますので再貼付けはできません。

❗ 本商品の両面テープは、環境温度が20℃以下の低温時には接着能力が著しく低下します。温度が足らないと両面テープが剥がれます。

❗ 両面テープの圧着は49N（5Kgf）以上（車両が軽く揺れる程度）で確実に行ってください。圧着が足らないと両面テープが剥がれます。

⃠ 本商品の取付け24時間は、洗車や水（水拭き含む）・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

取付けが終わったら

❗ 取付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。

❗ 作業時にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。

❗ 本取付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

Racing Development TRD

■ 目次

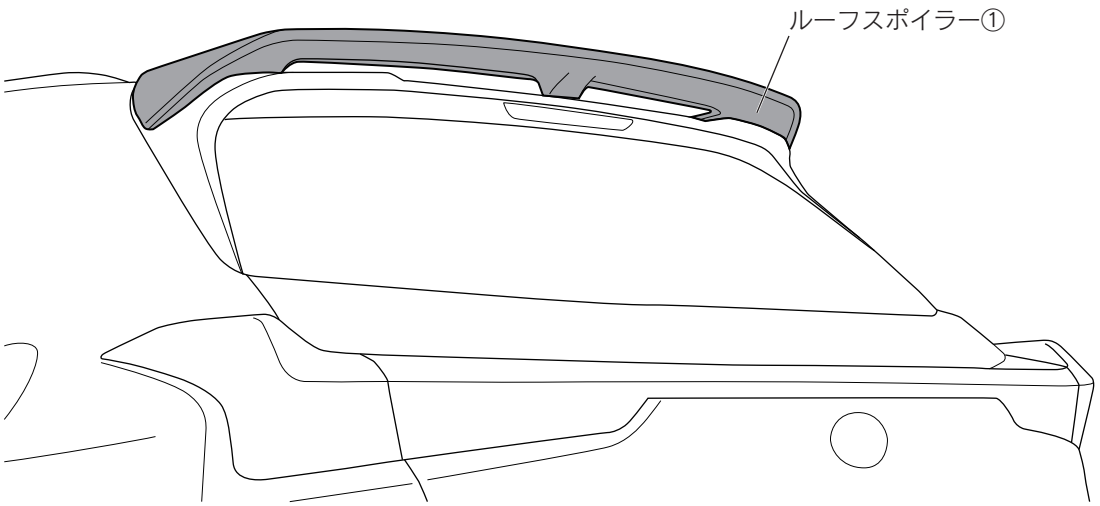
1.表紙、適合表、構成部品表、構成部品図・・・・・・・・・・・・・・・・・・1～2
2.取付け上のご注意（取付け作業者の方へ）・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
3.目次、取付けに必要な工具・保護具・消耗品、取付構成図・・・・・・・・・・4
4.取付け要項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5～9
5.取付け完了後の点検、注意事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9

■ 取付けに必要な工具・保護具・消耗品

・一般工具・プラスドライバー・クリップリムーバー
・加工用工具（ハサミ・カッター等）・ケガキ針・ヤスリ・保護メガネ
・電動ドリル（刃：3.0mm/6.0mm/10.0mm）
・軍手・保護シート・保護テープ・マスキングテープ・ネジロック剤
・ホワイトガソリン又はイソプロピルアルコール（ＩＰＡ）・清潔なウエス

■ 本商品は、3年・60,000Kmの保証を実施致します。
(3年または60,000Km走行時点のいずれか早い方まで)
※保証の詳細はＴＲＤパーツカタログサイト<http://www.trdparts.jp>
「保証について」をご覧ください。

■ 取付構成図



塗装済み品の取付けは、6ページ【ルーフスポイラー取付準備】に進み作業を行なってください。

■未塗装品の取扱いについて

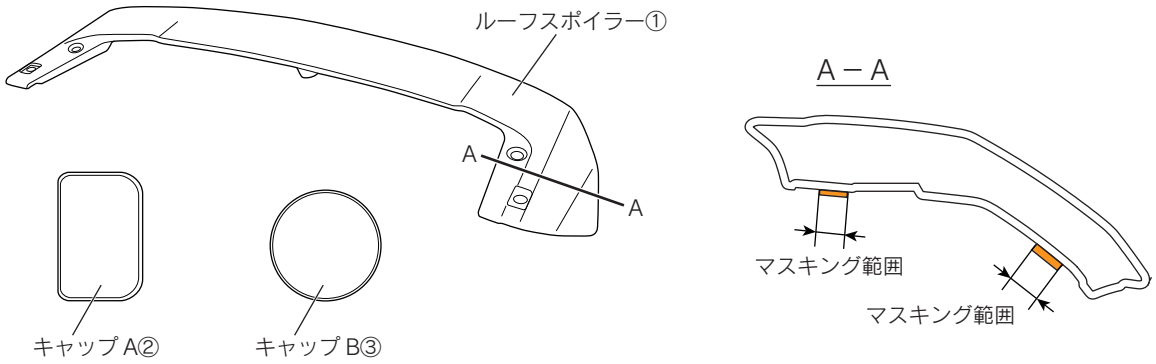
下記は未塗装品（MS342-76002-NP）の塗装前、塗装後の作業を記載しています。
下記要領に従い作業を行ってください。

※本取付・取扱要領書は、主にＬＨ側を示しており、ＲＨ側も同様に行ってください。

□ルーフスポイラーの塗装

1．図１のようにルーフスポイラー①、キャップ A②、キャップ B③を車両色で塗装する。

図１



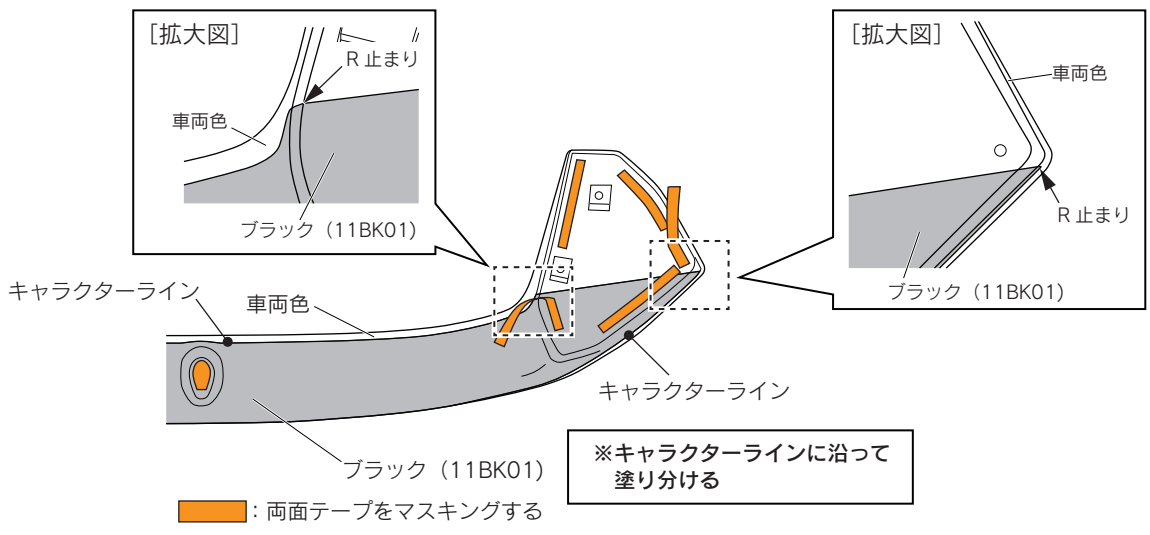
⚠注意 :乾燥温度を 70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。

⚠警告 :両面テープには、絶対に塗装しないでください。接着力が低下します。
マスキングテープを貼るなどして、対応してください。

⚠注意 :脱脂をする場合は、イソプロピルアルコール（以下ＩＰＡという）又はホワイトガソリンを使用し、シリコンオフおよびシンナーは使用しないでください。プライマーが溶ける恐れがあります。

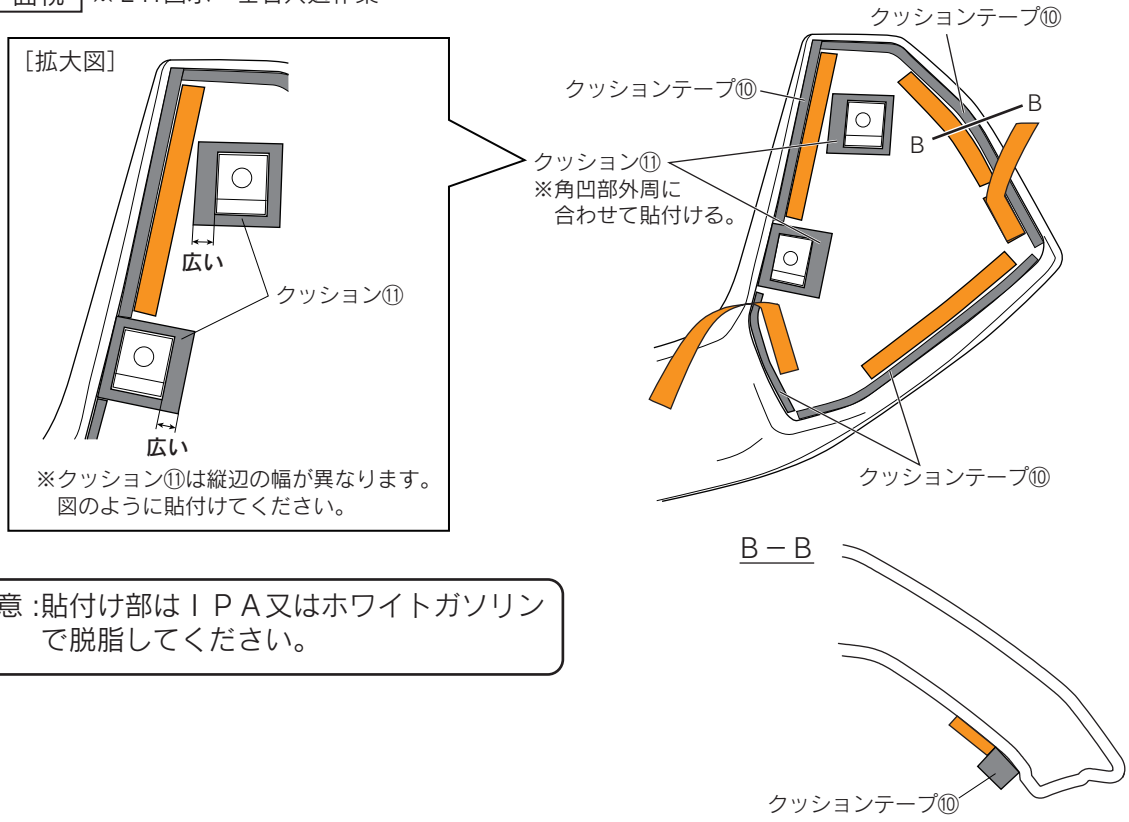
2．図２のようにルーフスポイラー①にマスキングし、ブラック（11BK01）で塗装する。

図２ 下面視 ※ＬＨ図示　左右共通作業



3．図3のようにルーフスポイラー①脚部にクッションテープ⑩、クッション⑪を貼付ける。

図3 下面視 ※LH図示　左右共通作業



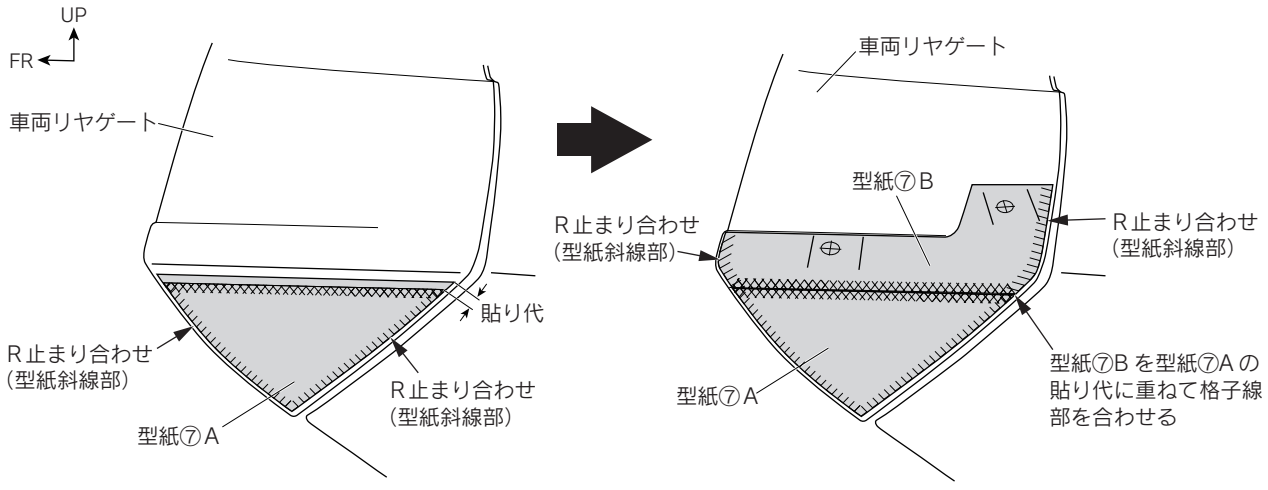
⚠注意 :貼付け部はＩＰＡ又はホワイトガソリンで脱脂してください。

※本取付・取扱要領書は、主にＬＨ側を示しており、ＲＨ側も同様に行ってください。

□ルーフスポイラー取付準備

1．図4のように車両リヤゲート上面及び側面に型紙⑦A，Bを使用し貼付ける。

図4 側面視 ※LH図示　左右共通作業



車両リヤゲートスポイラー側面に型紙⑦Aを貼付ける。

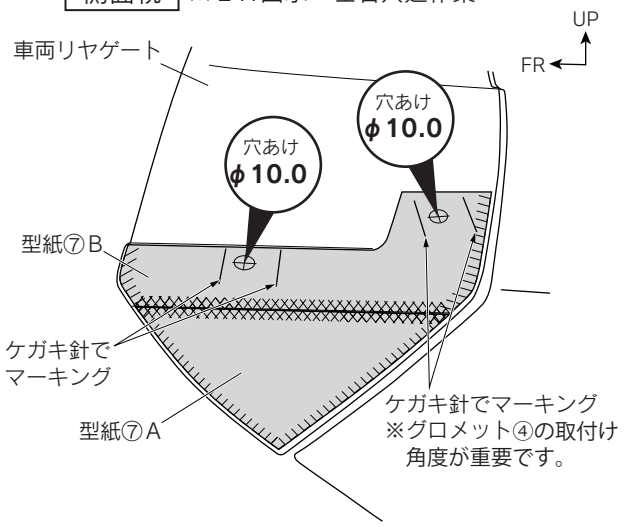
型紙⑦A上端末に合わせて型紙⑦B下端末を合わせて車両リヤゲートスポイラー上面に貼付ける。

⚠注意 :型紙⑦A、Bを貼付け後、ルーフスポイラー①を車両に載せ、穴位置が合っていることを確認してください。

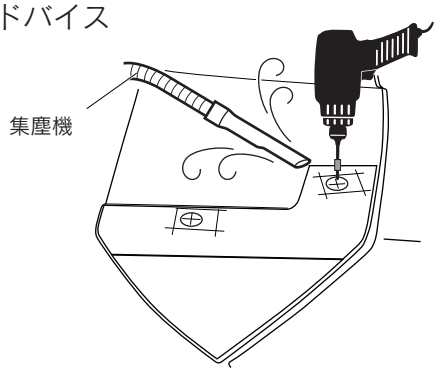
2．図5のように型紙⑦Bのケガキに合わせて車両リヤゲート上面にグロメット④の取付け角度をケガキ針等でマーキングする。

3．図5のように型紙⑦Bの穴あけ位置に合わせて車両リヤゲート上面にφ3.0→φ6.0→φ8.0 の順で下穴をあけ、φ10.0 の本穴をあける。（左右各2箇所）

図5 側面視 ※LH図示　左右共通作業



アドバイス

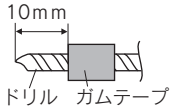


穴あけ加工時、車両リヤゲート内部に切り粉が混入しないように集塵機等で切り粉を吸引しながら作業を行ってください。

穴あけ



下穴：φ3.0→φ6.0→φ8.0
本穴：φ10.0



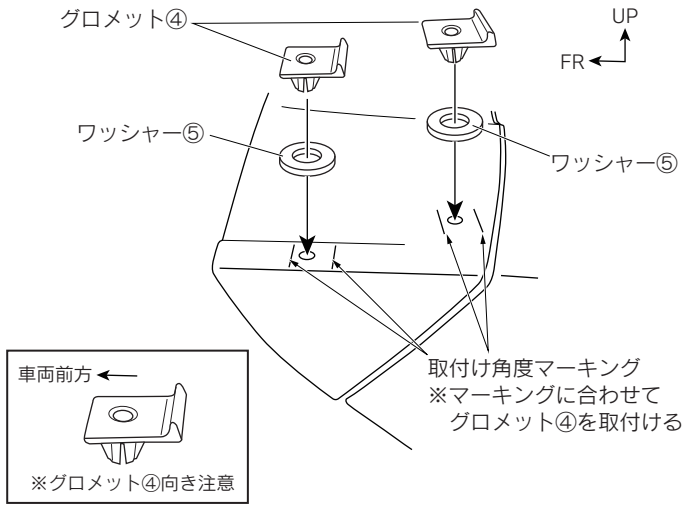
⚠注意：作業時は保護メガネを着用してください。

⚠注意：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、位置がズレないように注意してください。

4．型紙⑦A、Bを剥がし、穴周囲のバリを除去する。（左右各2箇所）

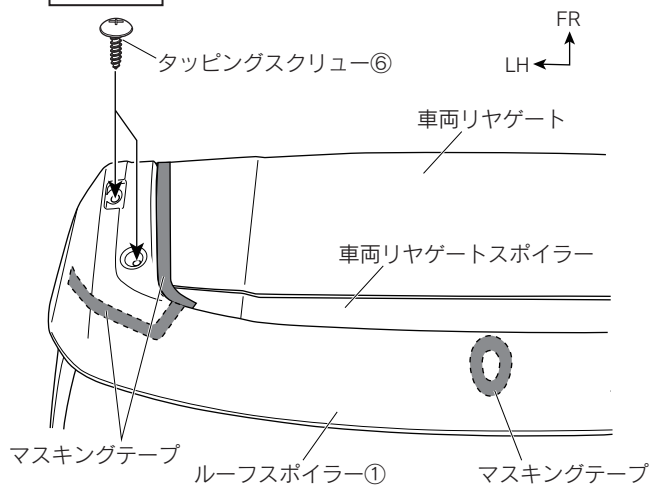
⚠注意：バリを取除く時には、穴径が大きくならないように注意してヤスリ等で取除いてください。

図6 側面視 ※LH図示　左右共通作業



5．図6のようにグロメット④にワッシャー⑤を通し、車両リヤゲートの取付け角度マーキングに合わせてφ10 穴に取付ける。（左右各2箇所）

図7 上面視 ※LH図示　左右共通作業

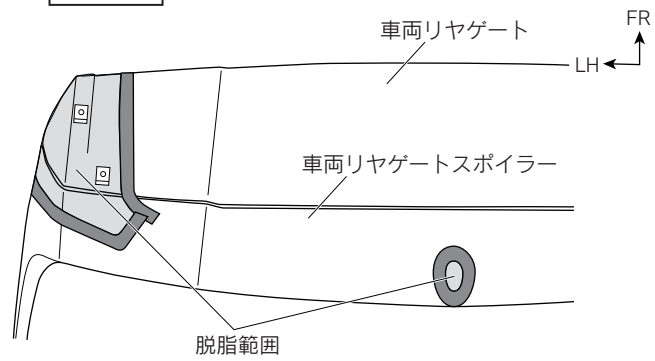


6．図7のように車両にルーフスポイラー①をあて、タッピングスクリュー⑥を仮締めし、取付け位置及び各部の隙を確認してルーフスポイラー①脚部端末に合わせ、車両リヤゲート及び車両リヤゲートスポイラーにマスキングテープを貼付ける。

⚠注意：ＰＡＣプライマー塗布範囲のマスキング作業のため正確な位置出し、マスキングを行ってください。

7．ルーフスポイラー①を取外す。

図8 上面視 ※LH図示　左右共通作業

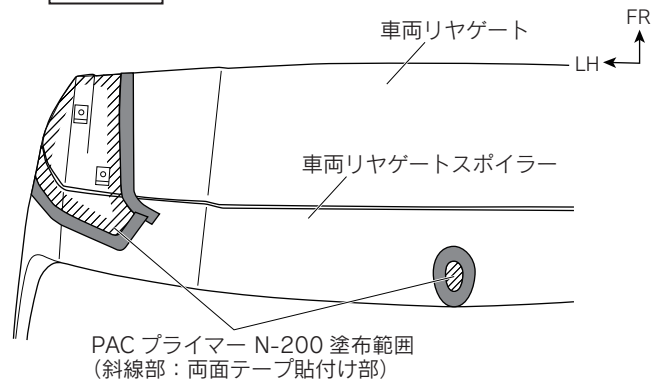


8．図8のように車両リヤゲート及び車両リヤゲートスポイラーの両面テープ貼付け部の汚れを取除き、ＩＰＡ又はホワイトガソリンで一方向に拭いて脱脂する。

⚠注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

アドバイス：脱脂後は、十分に乾燥させてください。

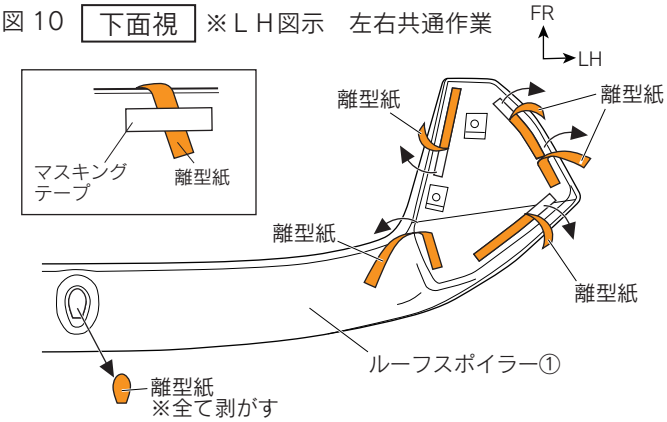
図9 上面視 ※LH図示　左右共通作業



9．図9のように車両リヤゲート及び車両リヤゲートスポイラーの両面テープ貼付け部の両面テープ貼付け部（左図斜線部）に PAC プライマー N-200⑧を塗布する。

⚠注意：プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにホワイトガソリンやＩＰＡ等で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

図 10 下面視 ※LH図示　左右共通作業

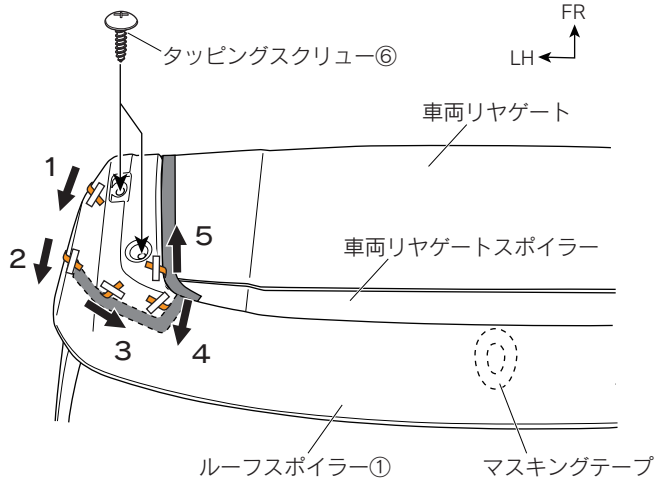


10. 図 10 のようにルーフスポイラー①の両面テープの離型紙を矢印の方向に約 30 mm 剥がしてマスキングテープ等で表側に貼付ける。

⚠注意：両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約４０℃程度に温めてください。

※本取付・取扱要領書は、主にＬＨ側を示しており、ＲＨ側も同様に行ってください。

図 11　上面視　※ＬＨ図示　左右共通作業



※左右脚部を圧着後、センター脚部を圧着してください。

□ルーフスポイラー取付要領

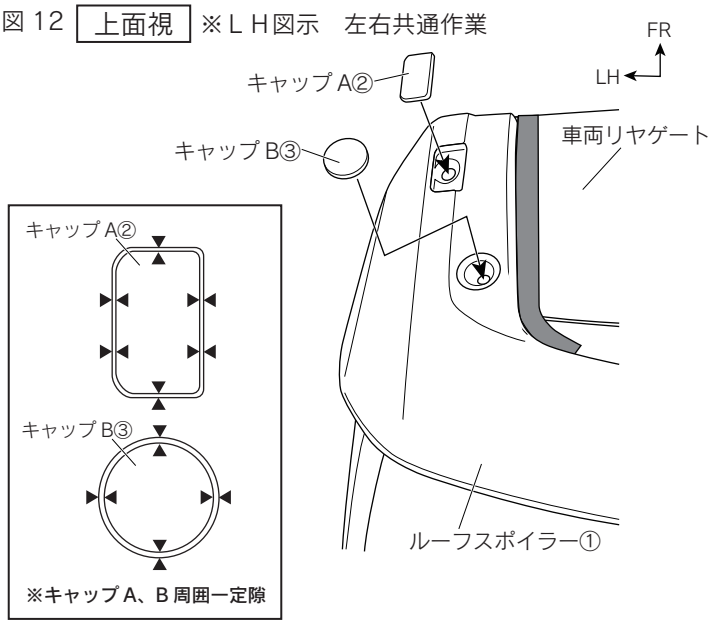
1．図 11 のように車両にルーフスポイラー①をあて、タッピングスクリュー⑥を仮締めし、取付け位置及び各部の隙を確認して両面テープの離型紙を矢印の方向へ番号順に剥がしながら貼付け圧着する。

⚠注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。

2．センター脚部を圧着する。

3．各部の隙、ガタ付き等を確認し、タッピングスクリュー⑥を本締めする。

図 12　上面視　※ＬＨ図示　左右共通作業

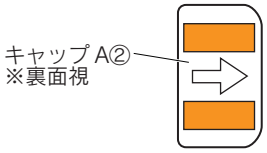


※キャップ A、B 周囲一定隙

4．図 12 のようにルーフスポイラー①にキャップ A②、キャップ B③を貼付ける。

⚠注意：貼付け部はＩＰＡ又はホワイトガソリンで脱脂してください。

アドバイス：キャップ A②は向きがあります。裏側の矢印が車両外側に向くように貼付けてください。



5．マスキングテープを全て剥がす。

■取付完了後の点検・注意事項

1. 製品全周に渡り、浮き・剥がれ等、無いことを確認する。
2. 車両及びルーフスポイラー廻りに傷が付いていないことを確認する。
3. 本取付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。
   該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

株式会社トヨタカスタマイジング＆ディベロップメント
ＴＲＤ商品問い合わせ窓口
TEL:050-3161-2121
https:www.trdparts.jp

Racing Development TRD

脱脂作業要領書

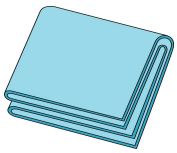
本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のＱＲコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

①エアロ取付準備・脱脂　　（約 3 分）
②エアロ位置決め・取付・圧着（約 6 分）
③デカール準備・水貼り・圧着（約 4 分）
合計　約 13 分

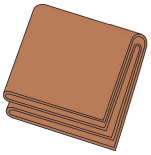
■　取付け時の脱脂作業に必要な工具等


水拭き用バケツ


合成セーム皮


脱脂剤用
スプレーボトル


ゴム手袋


DRY 用
ウエス


WET 用
ウエス


イソプロピルアルコール(IPA)
※純度 100%推奨

■　脱脂作業上の注意事項

1．ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2．隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等は行わないで下さい。
　※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3．脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4．脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5．脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

⚠注　意・・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

アドバイス・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。
下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。
大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。
脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。
≪脱脂作業前に≫以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■　脱脂作業前に

- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
  汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
  ※コーティング剤が残っていると両面テープはハガレます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■　脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。

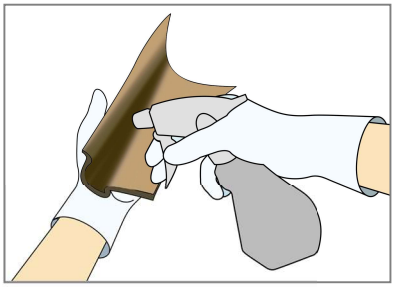

水拭き用バケツ


合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。


WET 用ウエス

※　ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。

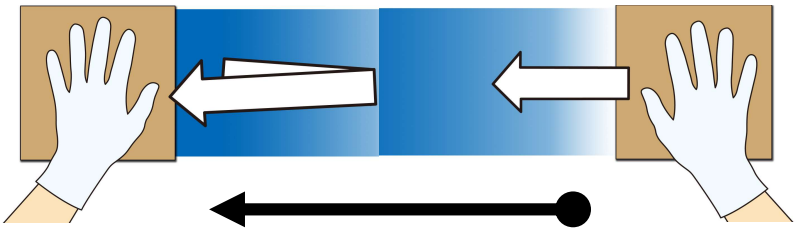


WET 用ウエスにスプレーボトルを５cm ほど離して、初回は１０回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。
以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で５回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】
脱脂剤を含ませたウエスで
１往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

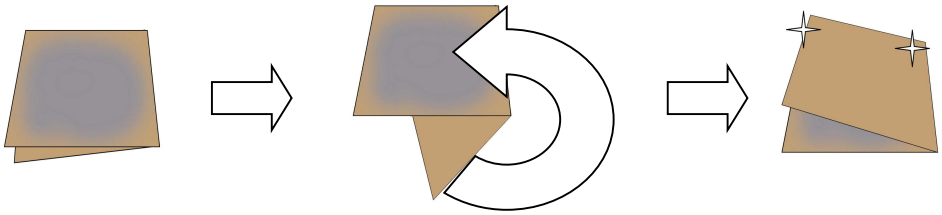
②【DRY 拭き】
DRY 拭きウエスで一方向に
拭き上げ油脂分を取り除く



１ブロック６０ｃｍ程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。
範囲が広い場合は１ブロック毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる

WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを
行ってください。
（上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。）

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が
残っていますので、再度 WET・ DRY 拭きを行ってください。



WET／DRY のウエス共に３～５ブロック毎にウエス表面を折り返し
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。

汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に
したがって行ってください。